

かんまき 社協だより

第3号

発行者
上牧町社会福祉協議会
〒639-0214 上牧町上牧 3245-1
(上牧町保健福祉センター内)
TEL 0745-76-6098



人形劇を楽しむ子どもたち

(第2回 ボランティアフェスティバル 11/25)

平成14年1月1日

(4)

ボランティアフェスティバルに参加して

ここでは、アンケート結果などをもとにボランティアフェスティバル参加者の声を紹介したいと思います。

まず、ボランティアフェスティバルの参加者は、七九三名で大人四八四名、子ども三〇九名、男女比はおおよそ三対七と女性に多く参加いただきました。

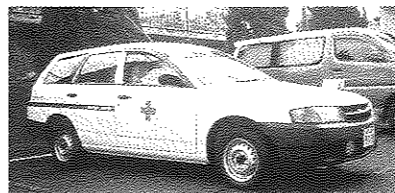
参加してみても感想は、「アットホーム的な集いで良かったと思う。」「また来年も来たいです。子どもが喜んでいました。」という評価をいただいた一方で、「食品の販売数が少ないのではないかと。店が閉まるのが早かった。」など模擬店の運営に対するご意見もいただきました。みなさまの声を次回のボランティアフェスティバルに反映させ、よりよいものにしていきたいと思います。

共同募金にご協力ありがとうございました

今年も十月一日より十二月三十一日までの三ヶ月間、「あなたのまちの幸せのために」をスローガンに共同募金運動を行って参りました。上牧町では、みなさまのご協力により、十一月末現在で一、二一九、九八六円の募金をいただいています。みなさまのあたたかいご協力ありがとうございました。

災害救援車 配車される

日本赤十字社 奈良県支部より災害救援車輛が配置されました。車輛は、災害時における救援活動のほか福祉活動に活用されます。



リングリング会長表彰

奈良ボランティアグループリングリングが、このたび開催された奈良県福祉大会にて、給食ボランティアとしての一〇年以上にわたる活動が評価され、県社会福祉協議会会長賞を受賞されました。



ボランティア基金へ ご寄付

平成十三年八月十六日

十一月三〇日

上牧町社会福祉協議会では、町内のボランティア活動を支援するため、ボランティア基金を開設しています。今回、左記の方々よりご寄付をいただきました。皆様からいただきました金品は、地域福祉事業に活用させていただきます。皆様のご寄付に対し厚くお礼申し上げます。

なお、いただきましたご寄付は、所得税法上の控除の対象になります。

氏名	種類	備考
友が丘友愛会	金銭	一円募金
米山台常盤会	金銭	一円募金
片岡台一丁目明朗会	金銭	一円募金
片岡台二丁目ことぶき会	金銭	一円募金
桜ヶ丘シルバークラブ	金銭	一円募金
松里園シルバークラブ	金銭	一円募金
岸 義夫	金銭	社会福祉協議会への寄付として

ボランティアフェスティバル

盛況に終わる!!

十一月二十五日、「であい、さふれあい、ささえあい」をテーマに第二回ボランティアフェスティバルを開催しました。

二月二五日に開催した前回に続き、二回目の開催でしたが、晴天にも恵まれ約八〇〇名もの参加をいただき、活気あふれた一日となりました。

今回は、午前中から始まりしたので、ボランティア体験コーナーに加えて模擬店・バザーや人形劇など沢山のイベントが開催されましたが、そのいくつかを写真を交えて紹介します。

ネイチャーゲーム

五感を使って自然とふれあうゲームで、今回は木の葉を使った楽しみました。



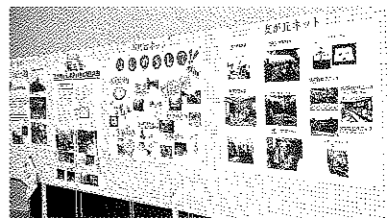
バザー・模擬店

イカ焼きや、フリーマーケットなど多くの人でにぎわっていました。



パネル展

各ボランティアグループの普段の活動をパネルで紹介しました。こんなグループがあったんだという声が多く聞かれました。



お話の会

ピーターパンによるお話のコーナー。子供たちは夢中になってお話に聞き入っていました。



体験コーナー

ボランティアグループの普段の活動を実際に体験したり、介助犬の活動などについて楽しく学びました。



ここでは全てを紹介できませんでしたが、この他にも沢山のコーナーが開催され、どのコーナーでも参加者の熱心な姿が見られました。

企画・運営にかかわっていたボランティアの皆さん、ご苦労様でした。

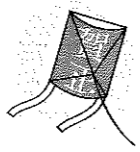
ボランティアのページ

●手話サークル「まきのは」

代表 青木 幸代

明けましておめでとうございます今年もよろしくお願ひします

第一回目の初級講習会の後、手話サークルが誕生し、今年で十一年目を迎える「まきのは」です。



活動内容は、主に新聞の切り抜きや絵本を使つての手話表現や手話の読みとり、また発表の場では、手話コーラスや手話劇などで楽しむこともあります。

会員数は、昨年初級講習会を受講された方から七名がサークルに入会され、現在二三名です。

「まきのは」の一番の自慢は会員が大変仲が良く、団結力があることです。交流会では、自

●スマイルネット

代表 室谷 由美

「笑顔をつなぐボランティアサークル」のキャッチフレーズでスマイルネットは、今春六名

慢の手品や隠し芸を披露したり、手作り手芸が得意な方は講師になったり、昼食会でおいしいものを食べに行く時などは特に団結力が良くなるなどにかく暖かく楽しい仲間が集まったサークルです。ほちほちと、自分のできることを自分らしく自分のできる範囲をやつていき、無理のないように参加できるサークルであれば良いと思つています。

サークルの活動は、毎週火曜日午後一時半から三時半頃まで、二〇〇〇年会館ボランティア室で行っています。

皆さん、一度手話サークル「まきのは」をのぞきに来ませんか？暖かくお迎えします。

でスタートしました。現在、七人で活動しています。

笑顔のネットワークを広げたい、そんな思いでスマイルネットと名づけました。

活動内容は、使用済テレカ、使用済切手を収集して、国際ボランティアセンターを通じて海外の困っている方達の支援をする収集ボランティアと、三ヶ月に一度、色々な楽しいイベントを企画、開催しています。

今年は、五月に環境セミナーとペットボトルを使った工作教室を開催し、親子でリサイクルを考えるいい機会となりました。

八月には、ユニセフ協会より写真パネルを提供してもらい、「世界の子ども達」パネル展とビデオライブラリーを開催させていただきました。平和の尊さを痛感いたしました。

これからも、皆が元気になってそしてためになるイベントをスタッフ一同力を合わせて開催

して参ります。お楽しみに!!

使用済テレカ、切手の収集箱「スマイルボックス」は現在二〇〇〇年会館をはじめ七ヶ所に設置していますがこれからどんどん増やしていく予定です。

ボランティアの言葉の語源は「自ら意志を持つ」という意味のラテン語です。「自由意志」自分の意志で立ち上がることです。

「困っている人がいれば、すぐに動く」文化を社会につくっていきたい。その熱い思いが、スマイルネット発足という形になりました。もしも今となりに困っている人がいたら笑顔であなたらしく励ましの声をかけて下さい。何か特別な場所に行ったり特別なことをすることはない。私たちの身近な所にボランティアの出発点はあるのかもしれない。

スマイルネットで楽しく活動してみませんか？